

講演②

演題 令和元年に房総半島を襲った台風 15 号で学んだこと

講師 有限会社 サンファーム
代表取締役 林 共和 氏

令和元年に房総半島を襲った台風15号で学んだこと



経営の概要

所在地 千葉県匝瑳市野手1450-2

経営形態 採卵鶏経営

経営従事者数 15名:常勤役員等 3名

雇用 12名

飼養羽数規模 288千羽

被害の概要

- ・15号台風の直撃を受け、3日間の停電
- ・ヒナと成鶏32,000が斃死
- ・堆肥舎の屋根が飛び堆肥が腐敗
- ・卵が破卵、ひび割れが発生し、販売不可能

令和元年9月8～9日 台風15号被害

有限会社 サンファーム
代表取締役 林 共和















今回の房総半島台風で学んだこと

- ・発電機と燃料の確保・点検
- ・日頃の付き合い人間関係(縁故・地元業者との常時取引、メーカー各社担当者、雛供給元、資機材取引先からの人的物的応援、心強い自社従業員)
- ・養鶏部会のグループラインの重要性(各種SNSでの繋がり、電話回線の不調時に写真や動画、テレビ電話での情報共有、マスコミの誘導と行政への訴え)

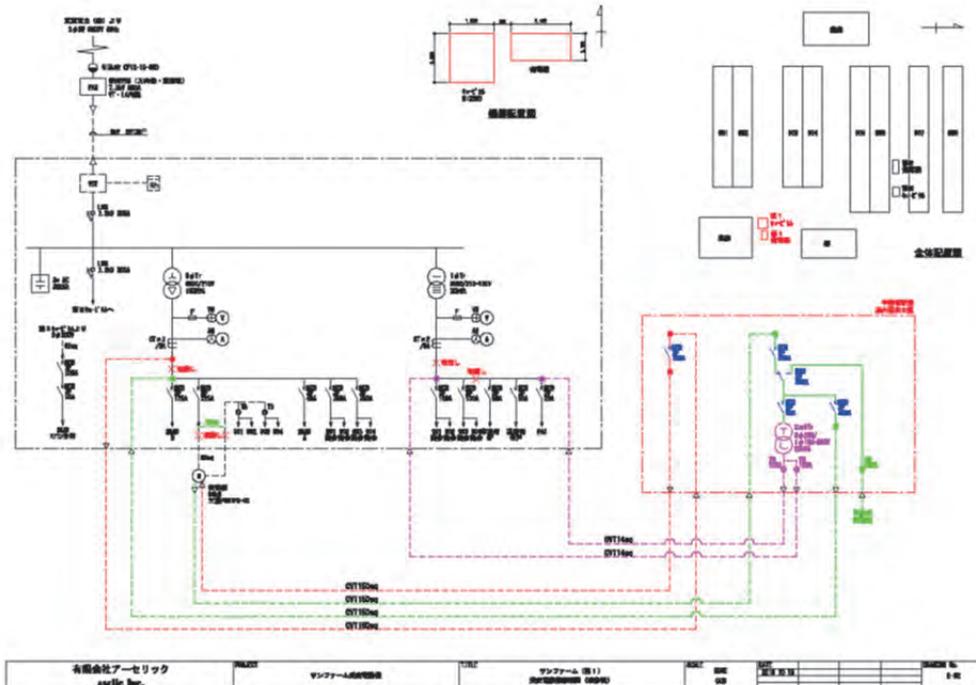
今回の房総半島台風で学んだこと

・現状の災害へのシミュレーションと目標、改善計画

2019年5月の育成場の東電電柱落雷事故による被害で、鶏舎設備と発電機損耗から、発電機更新を計画するも、北海道地震の影響から、発電機入手困難。

2019年度末補正予算の補助事業による、発電機導入事業に参加。

承認を得られたのは2020年8月下旬のため、真夏下で停電が命取りになるため、すぐに本格的な電気設備改修設置工事が不可能で仮設置。



今回の房総半島台風で学んだこと

- ・2020年秋冬期から、電設改修工事開始。
2021年2月の鳥インフルエンザ被害発生により、工事中断。
5月農場再開許可から工事再開。
2021年10月動力バックアップ完了。11月電灯用スコットトランスによるバックアップ完了し完工
- ・鶏の環境の改善の重要性
被災時の最若齢ロットが最も多い3割減耗したが、復電後の産卵再上昇後、過去最高の飼養成績。飼養環境の再考

